

項目	内容
名称	ギンバイカ、イワイノキ、ギンコウボク [英]Myrtle、Mytri Aetheroleum、Myrti Folium [学名]Myrtus communis L.
概要	ギンバイカは、フトモモ科の芳香性のある常緑低木。高さ1～3 m程度に生長する。地中海地域、西アジア原産。一般に葉および枝が用いられる。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <p>「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料) 」にも「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料) 」にも該当しない。</p>
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・揮発性油 (α -ピネン、シネオール、ミルテノール、リモネン、myrtolなど)、タンニン、フラボノイド類、アシルフロログルシノール (acylphloroglucinol) などを含む (33)。
分析法	-
有効性	
ヒトでの	調べた文献の中に見当たらない。
の	消化系・肝臓 調べた文献の中に見当たらない。

評価	糖尿病・ 内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
	脳・神経・ 感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・ 炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第1版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳 (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添2、別添3、一部改正について) (33) 世界薬用植物百科事典 誠文堂新光社 A.シェヴァリエ (34) 有用植物和・英・学名便覧 北海道大学図書刊行会 由田宏一 (80) 植物レファレンス事典 日外アソシエーツ	